

人口減少・地方創生 プロジェクト

市では、地域創生に向けて2015(平成27)年から2019(平成31)年までの5カ年の数値目標とその具体策をまとめた「留萌市総合戦略」を策定しました。



総合戦略3つの柱

市では、国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標である「地方における安定した雇用を創出する」「地方への新しい人の流れをつくる」「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」「時代に合った地域をつくり、安全な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する」の4つを考慮しながら、「留萌市総合戦略」の策定を進めてきました。

市が策定した総合戦略では、人口減少の抑制に向け、「魅力・やりがい留萌地域経済戦略」「健康・賑わい留萌ブランド戦略」「出産・子育て留萌サポート戦略」の3つの柱を定めました。

留萌市総合戦略のもと、皆さんが安心して暮らせる「笑顔あふれる留萌の創生」を目指していきます。

■お問い合わせは

政策調整課 ☎42-1809
<http://www.e-rumoi.jp/>

「健康・賑わい留萌ブランド戦略」

【数値目標】

- 健康をキーワードとした企業連携研究に参加する市民
……企業が希望する数(人数)に対する割合100%を維持(2015(平成27)年)
- 宿泊を伴う合宿・大会誘致による交流人口の拡大
……2019(平成31)年までに10団体延べ1,000泊以上

▼「健康・賑わい留萌ブランド戦略」では、市民が暮らす健康の駅を中心とした健康で生き生きと暮らせるまちづくりを目指すとともに、市民だけではなく、道内外から訪れる方たちと交流することで、みんなが元気に過ごせるまちづくりを目指します。

具体的には、「健康づくりの推進」「地域医療の充実」「地域福祉の充実」「体験交流人口の拡大」「魅力発信の充実」「シンボル公園の整備」の6つ

のテーマに基づいた各事業に取り組み、市民の健康意識を高めるとともに、観光をはじめ、芸術や文化、スポーツなど幅広い分野で交流人口の拡大を図ります。

また、深川・留萌高規格幹線道路留萌インターチェンジの開通(2019(平成31)年予定)に合わせ、船場公園を中心に留萌のシンボルとなる公園の整備を進め、さらなる交流人口の拡大に取り組んでいきます。

「出産・子育て留萌サポート戦略」

【数値目標】

- 合計特殊出生率の向上……目標値:2019(平成31)年までに1.64
2020(平成32)年までに1.65
2030(平成42)年までに1.80
2040(平成52)年までに2.07

▼「出産・子育て留萌サポート戦略」では、若い世代が希望する「結婚」「出産」「子育て」を留萌市で実現できるまちづくりを目指します。

具体的には、「子育て環境の充実」「学校教育の充実」「社会教育の充実」「子育て空間の充実」の4つのテーマに取り組み、地域社会の宝である子どもたちを取り巻く環境の改善と整備に努めます。

少子化対策として、出産・子育て支援事業を推

進するとともに、子どもたちの健全な成長を願い、「家庭」「学校」「地域」「行政」が一体となったまちづくりに取り組んでいきます。

また、教育環境の整備に努め、充実した教育に取り組み、子どもたちの夢や可能性を育てるまちづくりを進めていきます。

さらに子どもからお年寄りまでが安心して過ごせる空間づくりに取り組んでいきます。

「魅力・やりがい留萌地域経済戦略」

【数値目標】

- 製造品出荷額などの維持……130億円を維持(2019(平成31)年)
- 産業分類別総所得額の維持……275億円を維持(2019(平成31)年)
- 転入による新規就農・新規漁業従事者数
……2019(平成31)年までに延べ10人

▼「魅力・やりがい留萌地域経済戦略」では、地場企業の強化や支援、農業や漁業、水産加工業の強みを生かした「魅力とやりがいのあるしごと」の創出をはじめ、新規起業がしやすい環境整備を進め、市内で働きたいと思えるまちづくりを目指します。

具体的には、「地域産業の振興」「農林水産業の振興」「留萌港の利用促進」の3つのテーマに取り組み、新産業・起業など新たな産業を創り出し、

雇用を生み出すことを目指した地域経済の活性化と経済的に安定した生活の確立を図ります。

また、「生産者」「消費者」「行政」が一体となって地域経済の掘り起こしや地産地消などを積極的に進め、地場産業の活性化に取り組んでいきます。

さらに留萌港から海外への木材輸出など貨物取扱量の増加、利活用の増進に努めます。